

東区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称		実施主体			
東区民まつり事業 併催 東区民健康の集い事業		東区ふれあい事業実行委員会 東区民まつり運営委員会			
事業目的	事業効果	活動指標	H26	H27	H28
区民間のコミュニティの輪を広げることにより、明るく住みよい安全なまちづくりの推進の一助とする。区民の親睦と連帯、並びに健康意識の高揚を図る。	多くの区民が参加することにより、区域の一層の親睦、連帯、交流を深め、明るく住みよい安全なまちづくりを推進するとともに、区民が事業に積極的に参画することにより、まちづくりのための人づくりが期待できる。	来場者数	31,000人	32,000人	29,000人
①妥当性		②協働の視点		③インパクト	
○	東区民が一度に集まるイベントであり、まつりを通して交流を深めることで、まちづくりが活発になることが期待されるため、区が実施すべき事業であった。	◎	まつりの企画内容の検討から、当日の運営に至るまで、区民にそれぞれ携わって頂いた。	○	他区に先駆けて実施されるイベントであり、区内・市内だけでなく市外から多数来場があることからインパクトがある事業であった。
④効率性		◎		各校区に東区民まつりの費用面での負担だけではなく、企画の考察、区民まつりの準備から当日の運営までボランティアで携わって頂いた。	
⑤自立発展性		総合評価			
△	区民が企画の考察から当日の運営に至るまで大きな役割を担っているが、各種調整、広報等の事務局業務を担うのは困難であることから、事務局が関与していく必要がある。	○	今年度も区民の方々にまつりの準備から当日の運営に至るまで携わって頂いた。ステージの出演者等は、応募多数のため抽選により出演者・出展者を決定せざるを得ない状況であった。また、例年好評であるミニSLやふれあい動物園、似顔絵コーナーなど、若い世代の方も多く来場いただき、来場者数29,000人と会場の規模を鑑み、成功裏に終えることができた。		
今後の方向性(課題、改善提案等)					
拡充 継続 見直し 廃止	来場者数、出店・出演の応募者数、区民まつりの実施内容等を含めた事務局への問い合わせも多数あることから、定着したイベントであると考えられる。今後も天候に応じた出展・出演を実施するなど、多数の来場者から好評を頂けるよう、地元委員の方々を中心に企画・立案を行う。その中で、会場スペースに空きがないことから、会場のキャパシティ等を鑑み、いかに区民のニーズにあったイベントをするかが課題となってくる。				